

3年 全国学力・学習状況調査の結果より

1 学力調査に関するデータから

*100% 表示

地域 教科	全 国	沖 縄 県	本 校(県との比較)	カテゴリー
国語A	77.0	69.5	(+1.4)	知 識
国語B	74.5	68.0	(+0.8)	活 用
数学A	62.7	51.4	(-2.1)	知 識
数学B	56.9	45.4	(-0.1)	活 用

◎ 国語で、県平均をわずかながら上回った。数学では、B問題で県平均 A問題で-2.1と昨年を下回った。全国比では国語で、A:-6.1 B:-5.7 数学で、A:-13.4 B:-11.6と大幅に落ち込みが認められる。

「数学A」では、日頃の取組みを早急に見直して具体的な対策を行う必要がある。

2 学習状況調査に関するデータから

*100% 表示

○ 概ね良好と思われる項目 より

全国平均との比較

項 目	本 校	全 国
・国語の授業はよくわかる	33.1%	19.5%
・読書は好きである	48.6%	42.1%
・国語は将来役に立つ	44.8%	35.8%
・自分の夢や目標を持っている	56.5%	43.7%
・普段 12時以降に就寝する	19.3%	28.0%
・普段 4時間以上 TVなどの視聴をする	5.2%	18.4%
・図書館には週に 1~3回・4回以上行く 合計	29.1%	7.9%
・家で授業の復習をしている	60.9%	40.4%
・家で苦手な教科の勉強をしていますか	54.8%	41.6%
・普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っている	70.2%	52.6%

◎ 昨年度は、数学でも やや良好な項目が見られたが、今回は おもわしくない。就寝時刻やTV等の視聴時間は昨年度に続き、おおむね良好である。点数には結びついてはいないが、復習を行う生徒が6割いることは好ましい習慣である。読書好きが多いことも、データから読み取れる。

この“好ましい習慣”に応えられる取組みの工夫・改善が急がれる。

分析に多くの時間を費やすことができないまま、今回の公表となりましたのでこの程度でお許しください。もっとも大切なことは、『活用の方法』です。政権交代で次年度の実施方法が見えてきません。しかし、簡単には入手不可能な貴重なデータであることに間違いはありませんので、有効な活用方法をみんなで考えてみましょう！